



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日
東

上場会社名 西華産業株式会社 上場取引所
コード番号 8061 URL <https://seika.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井昭彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 長谷川智昭 (TEL) 03-5221-7101
(管理管掌)
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	60,630	△4.6	3,451	32.0	3,765	56.2	2,501	39.3
2023年3月期第3四半期	63,521	3.7	2,614	10.9	2,410	0.6	1,795	51.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,343百万円(113.2%) 2023年3月期第3四半期 2,506百万円(123.6%)

代理人取引に係る売上高は、仕入高と相殺した純額にて表示しております。相殺前の総額につきましては、取扱高として以下のとおり開示いたします。

	取扱高	増減率
2024年3月期第3四半期	143,265百万円	15.6%
2023年3月期第3四半期	123,949百万円	26.7%

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 207.54	円 銭 206.54
2023年3月期第3四半期	円 銭 149.35	円 銭 149.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 101,189	百万円 39,820	% 38.5
2023年3月期	百万円 79,990	百万円 35,736	% 43.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 38,944百万円 2023年3月期 34,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 90.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△8.9	4,500	△3.0	5,000	△20.5	3,400	△32.0	282.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

代理人取引に係る売上高は、仕入高と相殺した純額にて表示しております。相殺前の総額につきましては、取扱高として以下のとおり開示いたします。

	取扱高	増減率
通 期（累計）	200,000百万円	13.8%

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	12,320,650株	2023年3月期	12,320,650株
2024年3月期3Q	270,513株	2023年3月期	283,532株
2024年3月期3Q	12,054,059株	2023年3月期3Q	12,022,454株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(修正再表示)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナ禍の終息により経済活動の正常化が見られる一方で、地政学的リスクの高まり・顕在化、資源・原材料等価格の高止まり、各国の金融引き締めに伴う経済への影響懸念など、先行きの不透明感は払拭されない状況が続いております。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は、当社単体において大型案件の受渡しが少なかったことから、前年同期比4.6%減の606億30百万円となりました。一方、利益面においては、当社単体での体制拡充等に伴い先行した販管費の増加があったものの、国内外の連結子会社での顕著な増益があったことを主因として、営業利益が前年同期比32.0%増の34億51百万円、経常利益が前年同期比56.2%増の37億65百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比39.3%増の25億1百万円といずれも大きな増益となりました。

各セグメントの状況は、以下のとおりであります。

なお、当期より事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「電力事業」「化学・エネルギー事業」「産業機械事業」「グローバル事業」から、「エネルギー事業」「産業機械事業」「プロダクト事業」の3区分に変更いたしました。当第3四半期連結累計期間における前年同期比較は、変更後の区分に基づいております。

「エネルギー事業」

西日本各地区の電力会社発電所向け、首都圏・関西ほかの一般産業の自家発電向けともに発電設備のメンテナンス案件は順調ながら、前年同期に大型の新設案件の受渡しがあったことの反動で、売上高は前年同期比2.8%減の200億40百万円、当社単体における体制拡充等に伴い先行した販管費の増加などにより、セグメント利益は前年同期比12.2%減の10億8百万円となりました。

「産業機械事業」

当社単体において前年同期に大型案件の受渡しがあったことの反動により、売上高は前年同期比13.9%減の203億54百万円となった一方で、新型コロナ禍により活動が大きく制約されてきた一部の海外連結子会社の事業活動および業績が通常に戻ったことなどが寄与し、セグメント利益は1億24百万円（前年同期は1億95百万円の損失）となりました。

「プロダクト事業」

欧州各国で工事中水ポンプを主として取り扱うTsurumi (Europe) GmbHグループや、ダイヤフラム弁を中心とするバルブを製造・販売する日本ダイヤバルブ株式会社に代表されるグループ各社の業績が好調を維持していることを主因に、売上高は前年同期比5.0%増の202億35百万円、セグメント利益は前年同期比35.6%増の23億13百万円となりました。

なお、当社グループの海外売上高は、前年同期比3.6%増の115億83百万円であり、当社グループ全体の売上高に占める割合は19.1%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ211億98百万円(26.5%)増加し、1,011億89百万円となりました。これは、流動資産が187億67百万円、固定資産が24億31百万円増加したことによるものであります。流動資産の増加は、現金及び預金が13億9百万円減少した一方で、前渡金が103億55百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が85億14百万円、商品及び製品が12億10百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産の増加は、投資有価証券が24億48百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ171億14百万円(38.7%)増加し、613億68百万円となりました。これは、前受金が110億54百万円、支払手形及び買掛金が45億96百万円、短期借入金が10億円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ40億84百万円(11.4%)増加し、398億20百万円となりました。これは、株主資本が12億11百万円、その他の包括利益累計額が27億38百万円、新株予約権が32百万円、非支配株主持分が1億1百万円増加したことによるものであります。

株主資本の増加は、利益剰余金が11億91百万円増加、自己株式が20百万円減少したことによるものであります。利益剰余金の増加は、剰余金の配当13億88百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益25億1百万円、連結範囲の変動による増加80百万円の計上があったこと等によるものであります。

その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が19億76百万円、為替換算調整勘定が7億89百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.7%から38.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2023年11月10日の第2四半期決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,653	9,343
受取手形、売掛金及び契約資産	35,809	44,324
リース投資資産	64	40
有価証券	100	100
商品及び製品	8,216	9,426
仕掛品	406	551
原材料及び貯蔵品	1,620	1,782
前渡金	3,718	14,074
その他	972	704
貸倒引当金	△133	△150
流動資産合計	61,429	80,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,073	1,073
機械装置及び運搬具	232	267
工具、器具及び備品	383	402
賃貸用資産	683	681
リース資産	103	173
土地	2,101	2,038
建設仮勘定	15	4
有形固定資産合計	4,591	4,640
無形固定資産		
のれん	253	182
施設利用権	118	118
ソフトウェア	314	341
その他	12	12
無形固定資産合計	698	655
投資その他の資産		
投資有価証券	12,052	14,500
長期貸付金	29	34
繰延税金資産	602	537
その他	604	642
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	13,271	15,697
固定資産合計	18,561	20,993
資産合計	79,990	101,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,417	36,013
短期借入金	2,006	3,007
リース債務	35	42
未払金	1,219	1,455
未払法人税等	1,160	219
前受金	3,150	14,204
賞与引当金	714	490
役員賞与引当金	119	75
その他	648	1,056
流動負債合計	40,473	56,566
固定負債		
長期借入金	23	20
リース債務	76	143
退職給付に係る負債	2,617	2,617
役員退職慰労引当金	22	20
繰延税金負債	619	1,516
その他	421	482
固定負債合計	3,781	4,802
負債合計	44,254	61,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,728	6,728
資本剰余金	2,040	2,040
利益剰余金	22,813	24,004
自己株式	△435	△414
株主資本合計	31,146	32,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,140	5,116
為替換算調整勘定	692	1,482
退職給付に係る調整累計額	15	△12
その他の包括利益累計額合計	3,847	6,586
新株予約権	218	250
非支配株主持分	524	626
純資産合計	35,736	39,820
負債純資産合計	79,990	101,189

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	63,521	60,630
売上原価	49,952	44,707
売上総利益	13,569	15,923
販売費及び一般管理費	10,954	12,471
営業利益	2,614	3,451
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	105	119
有価証券売却益	15	3
持分法による投資利益	-	157
為替差益	90	22
その他	108	69
営業外収益合計	331	385
営業外費用		
支払利息	24	10
持分法による投資損失	487	-
その他	23	61
営業外費用合計	534	71
経常利益	2,410	3,765
特別利益		
投資有価証券売却益	655	77
関係会社株式売却益	-	16
受取補償金	-	56
特別利益合計	655	150
特別損失		
投資有価証券評価損	-	85
特別損失合計	-	85
税金等調整前四半期純利益	3,065	3,830
法人税、住民税及び事業税	904	1,127
法人税等調整額	321	141
法人税等合計	1,225	1,269
四半期純利益	1,839	2,560
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,795	2,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	1,894
為替換算調整勘定	607	829
退職給付に係る調整額	△0	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	71
その他の包括利益合計	667	2,782
四半期包括利益	2,506	5,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,426	5,240
非支配株主に係る四半期包括利益	80	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より重要性が増したため、SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED、NDV (Thailand) Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社竹本は、2023年7月3日付で当社が保有する株式を株式会社イノウエへ譲渡したため、第2四半期連結会計期間の期首をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。このため、当第3四半期連結累計期間においては、第1四半期連結会計期間末までの損益計算書を連結しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。